

令和7年度大分県特定家畜伝染病防疫演習

【目的】

高病原性鳥インフルエンザは、令和6～7年シーズンにおいて、国内で51事例の発生があり、5シーズン連続の発生が確認されている。また、令和4～5年シーズンにおいては、県内でも佐伯市の養鶏場で発生があり、飼養鶏の殺処分、死体等の埋却、農場の消毒等の初動防疫措置を実施した。

今シーズンも発生に備え、迅速かつ的確な初動防疫措置が実施できるよう、防疫体制を確認することを目的に防疫演習を実施する。

【演習場所】

○ 集会場

サイクルショップコダマ大洲アリーナ サブアリーナ

○ クリーンゾーン、ホットゾーン

大洲総合運動公園 多目的広場

【タイムスケジュール】

- 10：00 集会場に第1班防疫作業従事者（第1班）受入開始
- 11：00 集会場に第2班防疫作業従事者（第2班）受入開始
クリーンゾーンに第1班受け入れ開始
- 11：30 第1班ホットゾーン作業開始
- 12：00 クリーンゾーンに第2班受け入れ開始
- 12：30 第2班ホットゾーン作業開始
- 14：20 本庁動員者（第2班）現地演習会場から県庁へ移動
- 14：30 現地演習終了

令和7年度大分県特定家畜伝染病防疫演習

【演習内容】

1. 初動防疫開始から完了までの順を追った進行
2. 防疫作業支援者の交代と引継ぎ
 - ・防疫作業支援者名簿の事前作成
 - ・他局からの動員者との連携
3. 初動防疫計画書に基づく防疫作業従事者の動員
4. HZ内での捕鳥・殺処分訓練（模擬鳥）
5. 消毒ポイントの設置（1か所）



【演習のポイント】

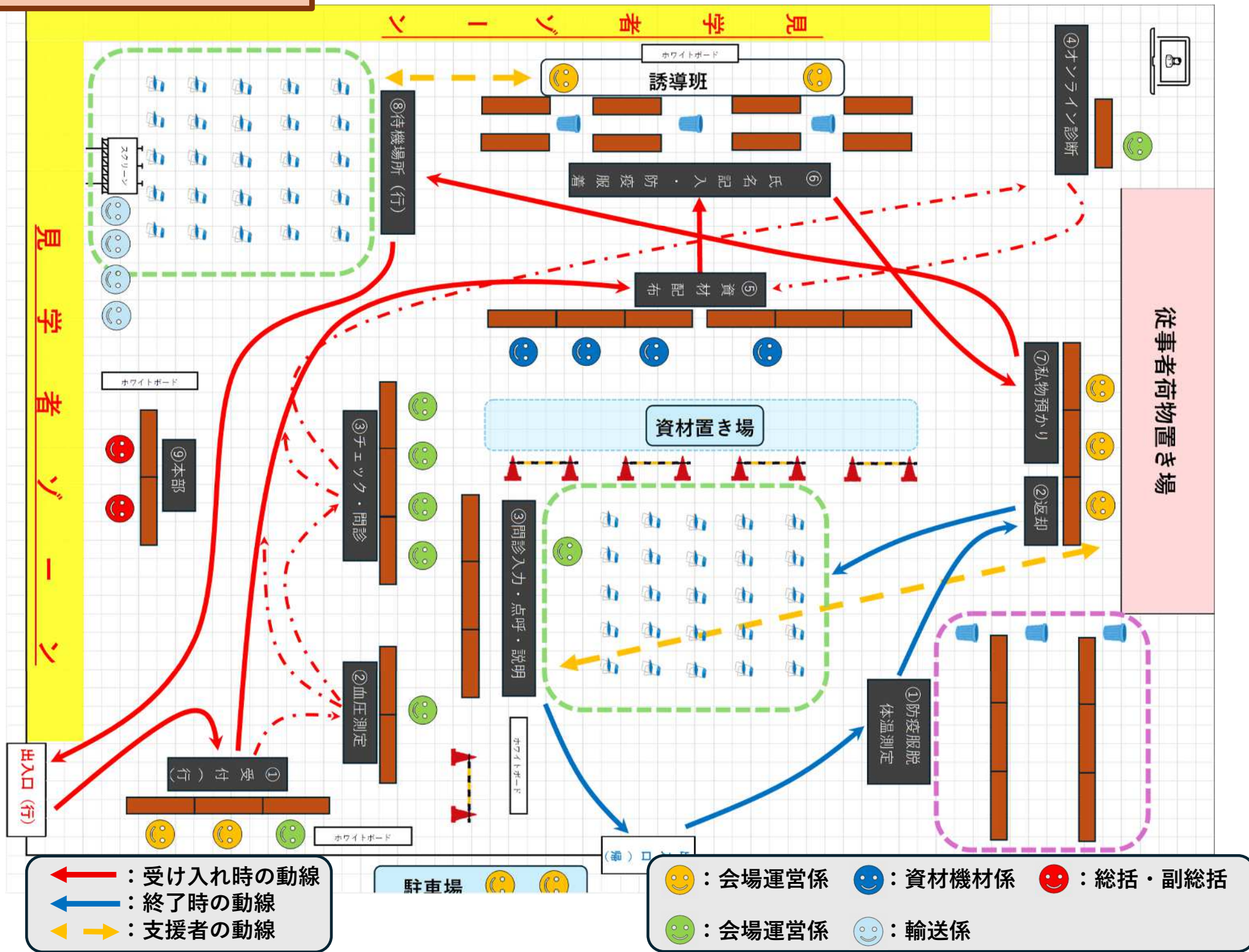
1. 現地派遣チームの連絡体制の検証・確認
2. 作業内容を平準化した防疫作業支援者マニュアルの検証

- 防疫作業従事者へのリストバンド配布
- 防疫作業従事者の集会場受付（帰り）の廃止
- 資材配布方法（セルフサービス方式）の統一
- 防疫服及び私物入れ袋の記名方法の統一
- 長靴受け渡し場所の変更（集会場→C Z）

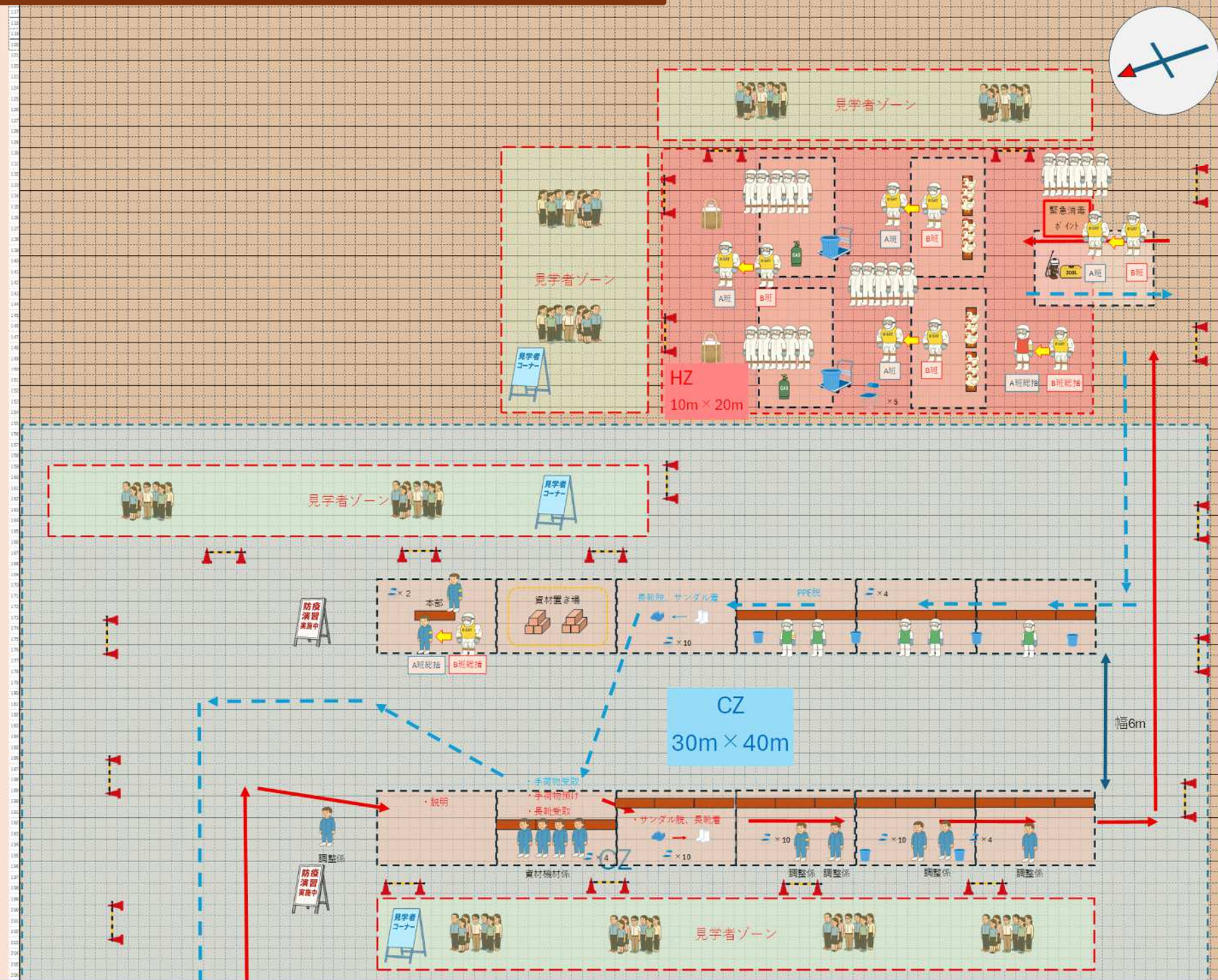
3. スターリンク端末の活用
（インターネット環境のない作業場）



1. 集会場レイアウト



2. クリーンゾーン・ホットゾーン全体レイアウト

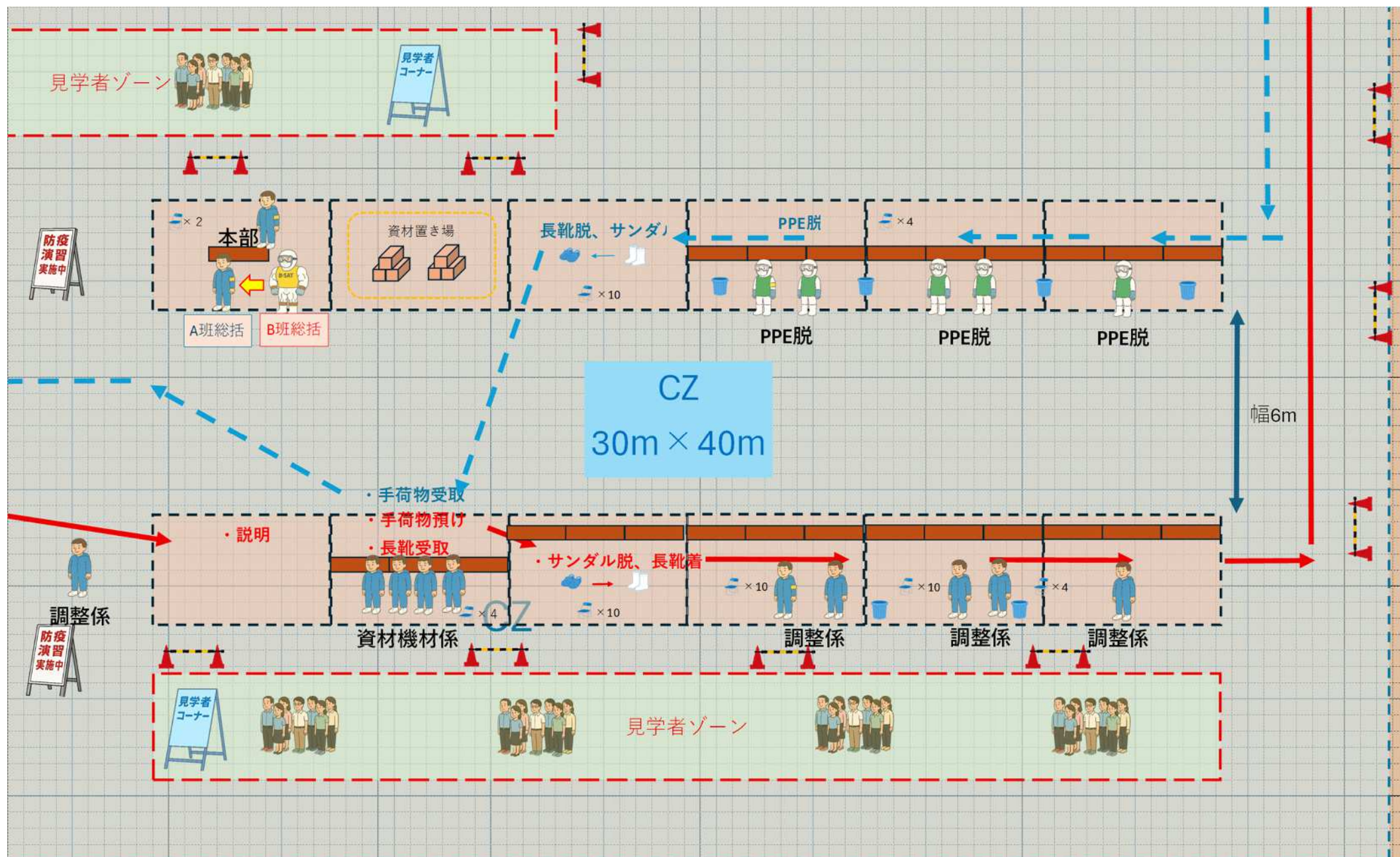


河川

道路

縦列駐車場

2-1. クリーンゾーンレイアウト



2-2. ホットゾーンレイアウト

